

実施要項

■旅行費用：¥378,000.-

■旅行期間：2015年3月28日(土)～4月3日(金)7日間

■募集人員：15名様(※定員になり次第締切ります)

■申し込み締切：2015年1月31日(土)

※ 出発日は大変混み合う時期です。申込み締切日を過ぎますと席がとれなくなるもございますので、なるべくお早めにお申込み頂きます様をお願いします。

■上記費用に含まれるもの

1. 往復航空運賃(エコノミークラス)
2. スタンダードクラスホテル宿泊料金(1室2名様、バス又はシャワー付)
3. 食事代：全食事付(機内食を含む)
4. 団体行動中の各種チップ等
5. 現地ガイド費用
6. 専用車費用

■上記費用に含まれないもの

1. 個人的性質の各種費用(小遣い、産代、通信費、国内交通費など)
2. 旅行傷害保険料(必ずご加入願います)
3. 手荷物超過料金(23kgを超えるもの)
4. 燃油サーチャージ及び各地空港税(約¥30,000)※変動があります
5. 団体包括取扱費用(¥8,640)
6. シングルルーム追加費用(¥45,000)
7. ブータンピザ取得費用(¥6,000)

■お申し込み方法：下記の参加申込書に必要事項を記入の上、ベストワールド様まで郵送又はFAXでお送り願います。費用については請求書を送付致しますので、期日までにお振込み方をお願いします。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 神田支店
口座名：ベストワールド株式会社
口座番号：当座預金 No.：0451765

■渡航手続き

パスポートは残存が、6ヶ月以上あることをご確認願います。有効残存期間が足りない方は、パスポートの更新をお願いします。パスポートをお持ちでない方は、各都道府県のパスポートセンターで申請を行いなるべく早い内パスポートを取得して頂けます様お願い致します。

戸籍謄本又は抄本、住基ネット番号、写真1枚(3.5寸×4.5寸)、運転免許証、未使用の官製はがき
※申請から受領まで8日間かかりますのでお早めにお手続き下さい

■おことわり

旅行費用は、平成26年11月現在の航空運賃及び為替相場を基準としております。出発前に大幅な為替の変動があった場合は旅行費用が変更となる場合がありますので予めご了承願います。お一人様でご参加の場合には、相部屋が基本となりますが、最終的に組合せの都合で客室をお一人でご利用いただくこともあり、その際には、シングルルーム追加料金が掛かりますので、予めお含みお願います。

■お取消料

お申込み後、お客様の都合でお取消のあった場合は下記の取消料をお願い申し上げます。
・出発日の30日から3日前迄の場合・・・旅行代金の20%
・出発日の2日前から出発当日迄の場合・・・旅行代金の50%
・無連絡不参加の場合・・・旅行代金の100%

◆お問い合わせ・お申し込み◆
株式会社 教育家庭新聞社
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 3-1-8 アダックスビル 5F
TEL: 03-3864-8241 FAX: 03-3864-8245
URL: http://www.kknews.co.jp/
ベストワールド株式会社
観光庁長官登録旅行業第145号 / 日本旅行業協会正会員
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-7-4
TEL: 03-3295-4111 FAX: 03-3295-4118
E-mail: info@bstworld.co.jp
ホームページ: www.bstworld.co.jp/bw/

規約事項：旅行中の天災事変、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、テロ、流行病、隔離、税関規則等、不可抗力の事由により生じた損害や、盗難、詐欺、暴行障害等、弊社の責任外の事故による損害、又は参加者が諸法令或いは公序良俗に反する行為のため生じた損害については、責任を負うことは出来ません。また、航空機、鉄道、船舶等の運輸機関の運賃変更やスケジュール変更があった場合、為替の大幅な変更、その他やむを得ない変更が生じた場合などは、経費・日程を変更する場合があります。

キリトリ線

教育家庭新聞 ブータンの英語教育 参加申込書

フリガナ氏名	生年月日			性別	男【 <input type="checkbox"/> 】 女【 <input type="checkbox"/> 】
ローマ字	19年 月 日				
現住所	〒 都道府県				
電話番号	携帯番号				
勤務先(学校名)	職名				
所在地	〒			電話: FAX:	
パスポート	番号	発行年月日	年 月 日	【 <input type="checkbox"/> 】これから取得する	
E-mail	@				
*成田空港近くのホテルでの前泊希望【 <input type="checkbox"/> 】	旅行中ホテル同室希望者			シングル部屋を希望する / 希望しない	
後泊希望【 <input type="checkbox"/> 】					

※この申込書はコピーしてお使い下さい ※国内線、前泊の手配をご希望の方は、ご連絡ください。
※お名前(ローマ字)は、パスポートに記載(または予定)のアルファベットのつづりを正確にお知らせ下さい。



国が力を注ぐアジア有数の英語教育を見る
母国語以外は英語で教えるイマージョン教育

ブータンの英語教育

2015年3月28日(土)～4月3日(金)7日間

企画：教育家庭新聞社
旅行実施：ベストワールド株式会社

観光庁長官登録旅行業第145号 / 日本旅行業協会(JATA)正会員 /
国際航空運送協会(IATA)公認代理店
URL: http://www.bstworld.co.jp/bw/

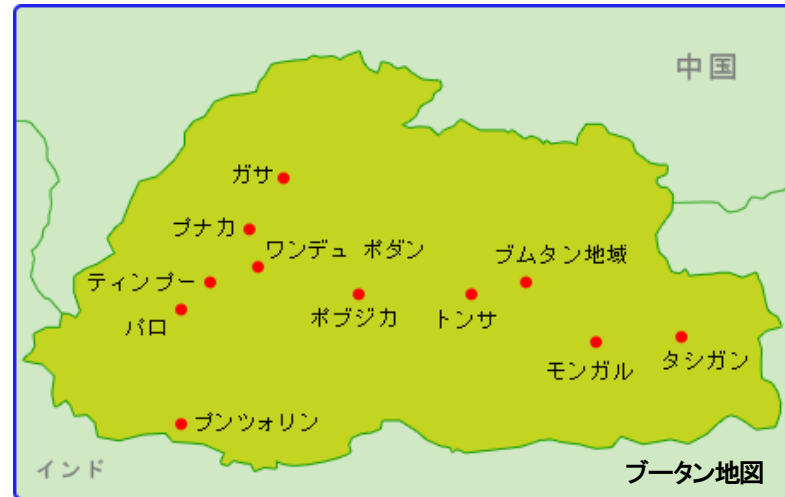
「心」を育てながら授業はすべて英語

ブータンは、GNP(国民総生産)よりGNH(グロース・ナショナル・ハピネス)の充実を国家の方針として取り入れ、独自の路線を模索しています。ブータンのこの方針はくしくも日本が経済成長を駆け上っていた1970年代のことでした。しかし現在となつてはこの方針には、日本をはじめ多くの先進国が注目しています。英語教育においてもブータン王国で近代化教育が始まったのは30年ほど前です。また小学校で全教科を英語で教えたのは1980年代に入ってからで、世界の言語教育の分野で今まさに注目されている「イマージョン教育」を、20年以上も前から実践していたこととなります。中国、インドという大国に囲まれたブータンが、国の存亡をかけて力を入れるのが教育で、倫理観や社会性、本物を見抜く力を身につけた若者が育てば、国の強さにつながるという考え方が基になっています。

この度アジアで一番といわれているブータンの英語教育の実状を見て頂くために企画致しました。是非この機会に奮ってご参加下さいます様、よろしくお願い申し上げます。

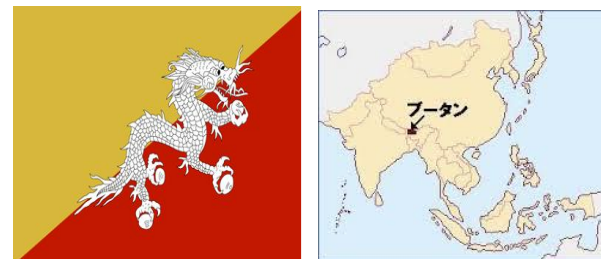
《ブータンひとくちメモ》

ブータンの正式名称は、ブータン王国 (Kingdom of Bhutan)。面積は九州と同じぐらい。国民の70%が農業に関わっており、その国土の60-70%は森林です。人口約65-70万。言語はゾンカ語ですが、小学校から英語で教科を教えているため、英語も通じます。ブータンの人たちは、自分の国のことを「Druck Yuru」ドゥルック・ユル(龍の国)と呼んでいます。Druckは「竜」、Yuruは「国」を表します。例えば、ブータンの航空会社はDruck Air(ドゥルック・エア)と呼ばれ、また英語の教科書の表紙には、必ず「Druck English Development Programme」と書いてあります。



仏教が息づくヒマラヤ奥地のブータン王国

ヒマラヤ山脈南麓に位置するブータン王国は、九州とほぼ同じ面積(約3.8万平方km)でありながら、北部の高山帯は海拔7,000m以上、南部の亜熱帯は300mと標高差の激しい地勢を持ち、多種多様な生物が生息しています。インドと中国という大国に挟まれた国土に生活する約70万人の約8割はチベット系住民ですが、ネパール系住民や少数民族も暮らす多民族国家です。正式な国名は、国旗にも描かれた竜の国を意味する「ドゥック・ユル」で、チベット系仏教(ドゥック派)を「国家の精神的な遺産」としています。宗教建築物や人々の習慣など生活のいたるところに仏教が根づいていますが、ヒンドゥー教など他の宗教の自由も保障されています。就労人口の約6割が農業に従事し、公用語はゾンカ語、普通教育はほぼ英語で行われています。



首都ティンブー

ブータンの首都であり、ティンブー市は人口10万人、標高2400メートル、政治、宗教、商業の中枢。山々に囲まれ、ティンブー川に沿って南北に細長く伸びた市内の北部は、タンチョ・ゾンや国会議事堂などの官公庁街、中心部にはノルジン通りに沿った商店街、南部には新興住宅街が広がっています。



パロ

パロはブータンと海外をつなぐ玄関口となり、唯一の国際空港があります。北部にはブータンの代表的な高峰チョモラリがそびえ立ち、その氷河の水が谷地のパロ川を形成しています。国内でも肥沃な谷地の1つです。



ブータンの英語教育 日程表

第1日目 3月28日(土)	東京(成田) ⇒ バンコク	バンコク泊
東京(成田)発	午前 航空機	成田国際空港集合。
バンコク着	午後	タイのバンコクへ向け出発。現地ガイドの出迎えを受け、ホテルへ。
第2日目 3月29日(日)	バンコク ⇒ パロ ⇒ ティンブー	ティンブー泊
バンコク発	早朝 航空機	空路、バンコクを立ち、ブータンのパロへ。
パロ着	朝	パロ到着後、ブータン最古の寺院キチュ・ラカン、パロ・ゾン、伝統様式で建てられた橋ニャマイ・ザムを訪問。その後、首都ティンブーへ。(約1.5時間)
パロ発	午後 専用車	
ティンブー着	夕刻	
第3日目 3月30日(月)	ティンブー滞在	ティンブー泊
午前:	教育委員会等行政機関訪問	
	○ブータンの英語教育政策。カリキュラムについて。	
	○現在の英語教育へと変遷されたプロセス	
午後:	ティンブー市内小学校訪問	
	○小学校英語教育の現状	
	○算数、理科、社会等の科目の英語の授業参観	
	○授業の中での「心」の伝え方	
第4日目 3月31日(火)	ティンブー ⇒ パロ	白
午前:	ティンブー市内中学校訪問	
	○英語教育の小学校から中学校への連携	
	○国民総幸福と教育の関連	
午後:	専用バスにてティンブーからパロへ移動。	
第5日目 4月1日(水)	パロ滞在	
午前:	Yodzerling School (小中学校) 訪問	
	○小中一貫校の英語教育	
	○コミュニケーションの媒介となる英語	
	○自国語と英語の両立をどうしているか	
午後:	自主研修	
第6日目 4月2日(木)	パロ ⇒ バンコク ⇒ (成田)	
パロ発	午前 航空機	空路、バンコク経由にて帰国の途に。
バンコク着	午後	
バンコク発	夜 航空機	
第7日目 4月3日(金)	⇒ 東京・成田	
東京(成田)着	早朝 航空機	帰国手続き終了後、解散。お疲れ様でした。

※確定された航空機便名、発着時間、研修先、ホテルについては最終案内でお知らせします。